中部 NOW

公益財団法人オイスカ　愛知県支部・中部日本研修センター会報

第３２９号
令和５年５月号

発行：(公財)オイスカ中部日本研修センター
〒470－0328　豊田市勘八町勘八27－56
TEL　0565－42－1101　FAX　0565－42－1103
E-mail: chubutc@oisca.org　　http: //www.oisca.org/

豊田推進協議会が総会開催

4 月 27 日(木)、豊田推進協議会(以下推協)総会が開催されました。センターを会場に 55 名の会員が参加されました。来賓として、豊田市長代理で生涯活躍部部長の八木健次様、県議会議員の樹神義和様、鈴木雅博様、神谷和利様、桜井秀樹様のご臨席をいただきました。また、豊田東名ライオンズクラブ加藤孝雄会長他、多数のご来賓の参加をいただきました。昨年度は、梅村清春新会長のもと、海岸林再生ボランティアツアーの実施、愛知県立大学名誉教授の樋泉克夫先生の講演会の開催、そして 10 回にわたる農業ボランティア活動が実施され、累計 211 名の参加者があったことが報告されました。事業計画としては、海岸林ボランティアツアー・農業ボランティア活動の継続実施、グローバル学習会の実施。そして、支部会長名で青年部と農業ボランティアリーダーの委嘱状の伝達が行われました。なお、11 月 26 日(土)に開催される「中部日本のつどい」(センター会場)には、開催地の地元推協として、期待が集まります。オイスカ活動は実践実行がモットー。令和 5 年度も豊田推協の動きが注目されます。

小杉裕一郎(筆)

農業研習生修了式

4 月 22 日(土)オイスカ農業研修生の修了式を 2 年ぶりに開催する事が出来ました。モー(ミャンマー)、ラハマン(バングラデシュ)、ジェロム(フィリピン)の 3 名が
1年間の研修を無事修了する事が出来ました事を、会員の皆様に改めてお礼申し上げます。
帰国後は 3 名とも自分の国の研修センターで勤務し、後輩の指導や自分の村での農業振興に取り組む予定です。厳しい環境でのスタートになる者もおりますが、皆様からのご声援を励みに頑張ってまいります。

筑田明生(筆)

コラム

会員・支援者の皆様、日頃はオイスカご支援をいただき、誠にありがとうございます。4月22日に県支部正副会長会議に出席された神野重行評議員が帰り際にオイスカのお米を買ってくださいました。神野評議員がオイスカのお米を買う理由はひとつ。「オイスカを応援するため」です。センターで生産された野菜や卵・お米を会員さんが真っ先に買ってくださいますが、理由はひとつ。「オイスカを応援するため」なのです。農業指導員のグレゴリー・レニ・ロン、海外の研修生を応援するために、バザーをすれば、オイスカ一択で真っ先に買ってくださるのです。普通、値段や味で買い物をするのは当たり前のことですが、会員さんは、「応援したい、協力したい」気持ちでオイスカ農産物を買ってくださる。このことは、私たち職員にとっては、本当に嬉しいことで感謝でしかありません。5月12日から14日まで光岡保之支部会長のご自宅を会場にチャリティマルシェ(NPO法人グリーングラスロッツ主催)が開催されますが、奥様の光岡幸子さんが卵かけご飯をやると提案されました。いろいろなメニューで考えられる中、幸子さんが「卵かけご飯」をやりたい理由はひとつ。「オイスカを応援するため」です。私たち職員・研修生は、熱烈な多くの会員さん・支援者の方々に支えられて、日々の研修事業が円滑に進められていることを忘れてはいけません。

「生きていく人間にとって、何より大切なのは、『利他の心』である」

これはお釈迦様の言葉だそうですが、亡くなった中野良子総裁も事あるごとに我々職員に「利他の心を持ちなさい」と説いておられました。利他の心とは、自分よりも他人の心を優先し、少しでも力になろうとする心の在り方をいうのだそうです。オイスカは会員さんの支援で成り立っていますが、「メリットは何ですか?」と聞かれることがあります。オイスカに入会して物資手的なメリットは皆無です。会費は、自分に戻ってくるわけではないですが、自分から最も離れた遠い存在である、志ひとつで来日してきたオイスカ研修生を支えています。

オイスカ運動は、「得にはならないが、徳にはなる」。会員の皆様に感謝する日々です。

小杉裕一郎

第106期　新入社員研修を実施

4月3日と4日から9日までの7日間にわたり、新入社員研修を実施しました。

本研修は、中部センターが岡崎市に拠点をもっていた時代から始まり、最も歴史の長い事業となり今年で106回を数えます。今回は1日コースと5泊6日の2コースに分かれて実施。太啓建設（豊田市）、大伸建設（岡崎市）、名古屋東部陸運（豊田市）、日本モウルド工業（安城市）の4社からご参加をいただきました。近年はコロナで中止あるいは、1社単独研修をせざるを得ない状況でしたが、今年集合研修が再開できることとなりました。参加された社員さんの感想文を読むと最も印象的な講座は、「生命の循環学習」だったようです。センターで飼育している鶏を自分の手で絞めて、解体し、食するという体験的な実習なのですが、今年の社員さんは臆することなくやりきりました。「これからは、いただきますを声に出して言います」「食事ができることが、当たり前のことではなく、感謝していただくものであることを理解しました」などの感想が寄せられました。オイスカの社員研修は、ビジネススキルだけではなく、「心の根を伸ばす」研修に主眼を置いています。研修を受講された社員さんの活躍を期待したいと思います。

小杉裕一郎（筆）

生命の循環学習。鶏の羽をとります。

「台湾を築いた明治の日本人」講演会
主催・オイスカ西尾推進協議会

3月25日(土)14：00より公益財団法人オイスカ会長渡辺利夫氏（拓殖大学元総長）の講演会がありました。渡辺講師は台湾の歴史に精通しておられ、明治の日本人は理性と豪気を併せ持つ人々であったことに大変感動し、各地で講演会をしたり執筆活動をしておられます。講演会では明治に活躍した二人の日本人について話されました。

『明治の日本の方たちは、アヘン吸引と熱帯病が蔓延し、秩序と規範がまるでなかった台湾に本気になって文化を吹き込みました。中でもエリート技師としてもその職分を存分に発揮した磯栄吉は、「蓬莱米」（コメの銘柄）を導入し、深刻な食糧不足に悩む地域に、「グリーンレボリューション」と言われる革命につながり、後にこの革命はアジアの国々に広まり、その結果食糧危機を乗り越えました。あと一人は、八田與一という技術者がいます。東洋一といわれる烏山頭ダムの建設を成し遂げた人です。これはダムというより湖と言ったほうが良いほどの規模です。この二人の貢献により台湾発展の基礎を作り上げました。』

私もこの地を訪問しましたが、ダムというより湖に近いものでした。

村松　明（筆）

会場の様子

農業研修生入国

令和5年度、農業研修生が入国致しました。
左からバボ（バングラデシュ）、アビ（インド）、シャン（フィリピン）、ベンジ（パプアニューギニア）の4名です。
昨年度から研修期間が2年間に変更になりましたので、先輩研修生1名ニコ（フィジー）と共に研修に励みます。

確実に力を付け、即戦力の人材に育ってもらえるよう皆様の応援をよろしくお願い致します。　　筑田明生（筆）

国ボラ研修生来日

農業研修生OBのソヌ（インド）が2年間の国際ボランティア研修生として再来日致しました。英語のコミュニケーション力とPCスキルを活かして技能実習業務のサポートを担当します。現在は日本語の復習に取り組んでいます。よろしくお願い致します。

筑田明生（筆）

令和5年度　事業計画発表会

3月17日、センターホールで事業計画発表会が開催されました。

事業計画発表会は、センター運営方針の発表、各部門責任者による目標発表をスタッフ全員で共有し、方向性を揃え、研修センター及び愛知県支部としての成果を出していくことを目的として実施しています。

5回目となる今回は、責任者の発表に加え、全員参加型とし、一人ひとりが目標を発表しました。10か年計画の2年目の年となる本年、令和5年度の方針や目標が責任者から発表されましたので、一部紹介させていただきます。

経営方針として、会費・技能実習・農業生産・事業・寄付金募金をセンター収入源の5つの柱とし、5部門がバランスよく拡大・発展させていくために、職員全員が数字にこだわり、スタッフ一人一人の努力と汗が成果に表れ、結果に表れる年にしていくことが発表されました。年度明け早々に新入社員研修が行われ、11月にはオイスカ中部日本の集いが計画されるなど行動が実を結び、コロナ禍に負けずに、着実に前進していく年にしたいと思います

澤井　利昭（筆）

オイスカ名古屋地区協議会役員会の開催

去る 4 月 13 日メルパルク名古屋において協議会発会後、1回目の役員会を開催しました。役員会には神野重行会長、愛知県支部光岡保之会長をはじめ名古屋地区各推協の役員の皆様ご出席のもと協議会として名古屋地区におけるオイスカ活動について、11 月に予定しているオイスカ中部日本の集いの対応など協議、意見交換を行いました。

名古屋地域で更に会員拡大活動を推進することをまとめとして閉会しました。

オイスカ名古屋地区協議会

事務局　福谷　英則

3・4月研修生の活動　　グレゴリー（記）

稲の苗土の準備

トマトの植え付け

トマトのつぎき

ナスの植え付け

中部センターに新たに二人の職員が着任しました

4月から入所しました、松岡篤彦と申します。
これからオイスカ中部日本研修センターでお仕事させていただきます。
趣味はスポーツ観戦、歴史小説、旅行などです。旅行先の現地でスポーツ観戦や城巡りをしています。旅行が好きな方はぜひおすすめを教えてください。よろしくお願いいたします。

4月より入所しました小木曽優子です。
豊田市に生まれ育ち、長年自動車関連企業で内勤事務に従事していました。まったく異業種からの参入と、学生時代に家庭科の資格を取得したもののブランクが長すぎることで不安がいっぱいですが、このセンターの周りに見えるたくさんの宝物（果物や野菜）たちを日々の食事にあるいはパンやお菓子に活用できることを想像してワクワクしています。一日も早くなれるよう精進まいてまいります。

更新会員名簿（801／820）

安城（76／71）鳥居忠良、丸中鍛工 株式会社、川嶋君子、深津貴弘
岡崎（28／29）西久保ながし後援会、内田康宏
尾張一宮（4／5）大興建設 株式会社
豊田（207／229）中山純二、中野利弘、牧野内隆夫、スターライフ 株式会社、松村鉱一、うたごえグループ わいがや、天野貴章
名古屋（60／70）筒井タカヤ
名古屋北（31／21）株式会社 YMD
半田（19／21）手島ガス住設 株式会社
碧南高浜（55／58）田代清一、鈴木勝彦、オイスカ碧南高浜推進協議会 女性部、森田歯科医院、柳沢英希
みよし（43／41）坂口嘉弘、川原洋子、後藤勇太、山内一郎
センター（36／46）大木雅俊、青山省三、有限会社 吉田畜産、安部雅之
（三月末までの入金を掲載）

新入会（個人）

林文夫（みよし市）
松岡篤彦（名古屋市）
小木曽優子（豊田市）
木村達司（安城市）
都築光哉（安城市）
蟹江隆司（安城市）
山下清志（知多郡東浦町）
甲原寛士（安城市）
石川暉壽（安城市）

新入会（法人）

株式会社 トランソニック ソフトウエア（名古屋市）
有限会社 佐土谷（大阪府泉佐野市）

寄付品

（公財）修養団（伊勢市）
浪速金液 株式会社（名古屋市）
門池千尋（豊田市）
有限会社 吉田畜産（田原市）
神野重行（名古屋市）
中野良之（静岡県湖西市）
株式会社三井酢店（知多郡阿久比町）
シマツ 株式会社（刈谷市）
トヨタファーム（豊田市）
佐藤銀弘（豊田市）
サントリービバレッジサービス株式会社（名古屋市）
北陸アグリ開発（新潟県）
加藤みつ子（豊田市）
光岡幸子（豊田市）
長田昭吾（安城市）
ガールスカウト愛知県第62団（豊田市）
小嶋則志（豊田市）
（三月末までの寄付品を掲載）

寄付金

村松明（西尾市）
ゆう農会（豊田市）
株式会社 あいや（西尾市）
西三河農業協同組合（西尾市）
株式会社 オティックス（西尾市）
株式会社 ドミー（岡崎市）
鈴木哲夫（知立市）
オイスカ西尾推進協議会（西尾市）
CKD 株式会社（小牧市）
株式会社 For Nature（名古屋市）
リンナイ 株式会社（名古屋市）
日本ガイシ 株式会社（名古屋市）
小嶋則志（豊田市）
山守の会（大府市）
明保澄雄（岡崎市）
（三月末までの入金を掲載）

書き損じはがき

佐藤順一（豊田市）

インクカートリッジ

佐藤順一（豊田市）
光岡正和（豊田市）
トヨタ自動車労働組合（豊田市）

ベルマーク

光岡正和（豊田市）
トヨタ自動車労働組合（豊田市）
山中敦子（豊田市）
（三月末までにいただいたものを掲載

中部センターの中庭にフジが咲きました